

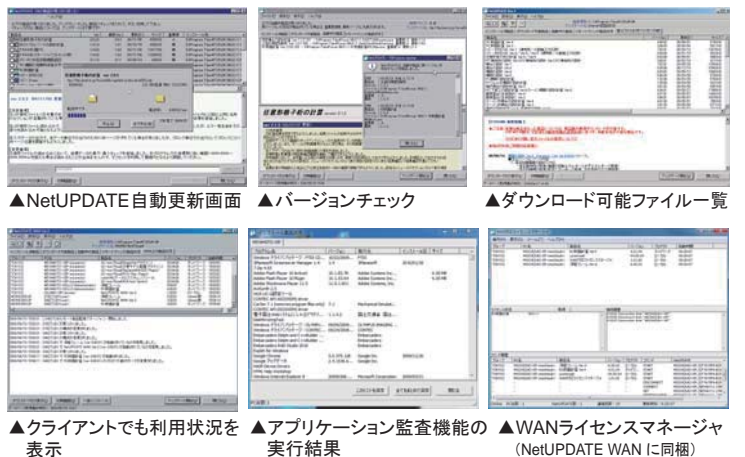
インターネット自動アップデートツール

プログラム価格: ¥20,000.
保守契約・レンタル価格: P.160~161参照

UC-win/UC-1の全ての製品のアップデートが可能です。更新の重要度情報、バージョン更新履歴、最新の製品情報などの情報も表示し、起動時・起動中のバージョンチェック、製品一括ダウンロードに対応。

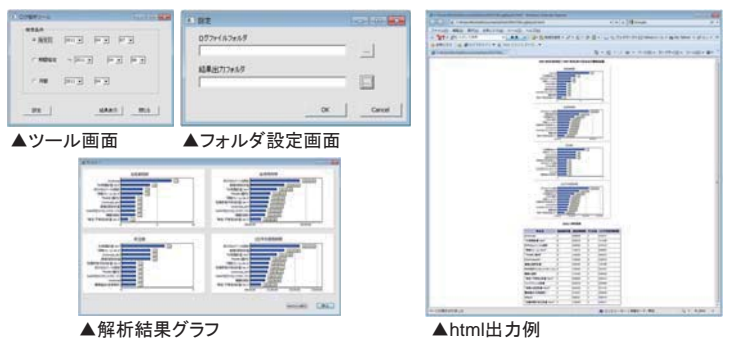
- 設計ソフトの信頼性を高める自動更新機能
 - 製品の信頼性確保のために、最新の製品を常に利用することが必須です。NetUPDATEは、コンピュータにインストールされているフォーラムエイト製品をサーバにアクセスし、最新製品バージョンに自動更新するプログラムです。
- 製品の自動検索機能により、新旧バージョンを表示
 - 検索ドライブ、フォルダの指定だけで、製品を自動検索します。最新バージョンは、インターネットで情報を取得しますので、新旧の最新バージョンがすぐわかります。
- 製品毎に一目でわかる重要度情報、バージョン更新情報
 - 最新バージョンだけでなく、製品の更新重要度がわかります。A（重要度、高、緊急性の高い重要更新）、B（重要度、中、機能的な強化、限定的なエラーなど一般的な更新）、C（重要度、低、軽微な修正などの重要度が低い更新）、無（更新不要）の分類で表示されます。
- 信頼性・品質の高いFTPサーバでダウンロード
 - ダウンロードは、高速回線・高品質のフォーラムエイトFTPサーバをアップデートサーバとして利用しています。また、HTTPによるダウンロード設定にも対応しています。
- 定時予約による自動更新、メモリ常駐によるリアルタイム更新
 - 手動更新ばかりではなく、メモリに常駐し、検索チェックの周期を毎週、毎日、時間などを指定することで、自動更新を実行します。
- 製品一括ダウンロード、製品起動時・起動中のバージョンチェック
 - 最新の製品ファイルを一括してダウンロード、インストールの実行が可能です。
 - NetUPDATE常駐時に起動された製品に新バージョンが存在する場合、メッセージがでます。
 - ダウンロードしたファイルの正当性チェックを強化し、32bitのCRCチェックを行うことにより、アップデートの失敗率を約43億分の1にまで抑えました。
 - 簡易ランチャ機能を装備。右クリックするとメニューが出るようになり、インストール先を開いたり、製品を起動させられます。
 - サーバ機能の追加。一度ダウンロードしたPCをサーバにして、他のPCでダウンロードされたファイルを利用してアップデートするという機能に対応。
- NetPROモニター機能(LAN/WAN対応)をサポート
 - 製品使用状況、Viewer版の起動状況も確認できます。クライアント、サーバを問わず、NetUPDATEが起動されていれば、どのPCでもモニタが可能です。
- 保有ライセンス製品更新ファイルの一括ダウンロード
 - ローカルサーバ機能では、フォーラムエイト製品がインストールされていないPCでも、ダウンロード可能な製品全てをフォーラムエイトアップデートサーバからダウンロードすることが可能です。インターネットに接続できるコンピュータが1台あれば、同一ネットワーク内にある全てのコンピュータのフォーラムエイト製品を最新の状態に保てます。

- ログオンユーザ名の表示
 - ネットワーク上のコンピュータのログオンユーザ名の表示が行えます。1台のコンピュータを複数のユーザが使用するような環境においても、利用者毎のフォーラムエイト製品利用状況の監視が可能です。
- アプリケーション監査機能
 - 各パソコンにインストールされているアプリケーションの情報を、NetUPDATEの機能を使用してネットワーク経由で収集することで、アプリケーションの一覧を作成することができます。取得できる情報は、プログラム名称、バージョン、発行元、インストール日、サイズになります。結果一覧はソート表示、CSV形式のエクスポートが可能です。なお、取得できる一覧はパソコンの「プログラムの追加と削除」の機能より取得できる情報となります。
- Ver.4 改訂内容<2013年5月21日リリース>
 - 1.NetUPDATE単独でのログ解析機能を追加
 - 2.ログ解析にコンピュータ名毎の使用時間の集計機能を追加
 - 3.旧バージョンの製品の検出に対応



●ログ解析ツール

- 「NetUPDATE WAN対応ライセンスマネージャ」で出力したログを解析、結果出力が行えます。
- 条件の設定: 検索条件でログを解析する期間を指定できます。
 - [指定日]...選択した日付のログファイルを解析
 - [期間指定]...選択した期間内のログファイルを解析
 - [月間]...選択した月の全ログファイルを解析
 - また、ツール画面の設定ボタンを押すと解析するログファイル名や、結果HTMLファイルの出力先フォルダを設定することができます。
 - 解析結果表示画面: 指定した条件で解析した結果を上位10製品をグラフ表示します。
 - [指定日]による解析の場合、総起動回数と総使用時間、PC台数のグラフを表示します。
 - [期間指定]による解析の場合、使用時間のグラフを追加して表示します。
 - [月間]による解析の場合、1日平均使用時間のグラフを追加して表示します。
 - また、HTMLで結果レポートが自動的に保存されます。
 - htmlファイル表示: グラフに全体の表を加えたhtmlを表示することができます。htmlファイルもグラフ同様、設定した出力先に保存されます。



ウルトラマイクロデータセンター®

UMDC
ウルトラマイクロデータセンター®
ultramicrodatacenter.com

VR-Cloud®に最適！ コンパクトで低価格な 高速度グラフィックサーバー



- 特長・ラインナップ
 - 超小型・省スペース: 430(w)x75(h)x330(d), 10.6L、一般的な19inch型サーバの4分の1
 - 静音性: 静かなファンと温度センサ利用、オフィスや家でも快適に使える環境への配慮: 省エネ型チップ/ソリッドステートディスクを利用、500W(ハイパフォーマンス型)/200W(ストレージ型)での選択が可能、(一般的な19inch型の約半分)
 - 多様な用途、拡張性
 - ・CPUパフォーマンス: インテル 3rd generation Core プロセッサ, Xeon E3、AMD phenom II X6 プロセッサ最大メモリ 64GB
 - ・GPUパフォーマンス: nVidia GeForce GTX シリーズ 6xx, Tesla/Quadro/CUDA AMD Radeon HD シリーズ 7xxx, FirePro
 - ・堅牢性に優れた高速ストレージ: 最大16個の2.5インチディスク、最大ストレージサイズ: 32TB、最大転送速度 8Gb/s (読み込み)、ハードウェアRAID(レベル0, 1, 5, 6, スパン10, 50, 60)
 - ・マルチメディア: ビデオキャプチャエンコーディング、プロセッシング&ストリーミング、任意の最新型CPUを使用(CPUパフォーマンス参照)
 - 設計・デザイン
 - 同等の一般的な19inch型サーバ筐体と比較して約4分の1以下の容量を実現しながら、デュアルスロット PCI-Express X16 フルレンジに対応しています(シングルスロットもサポート)。最大16個の2.5インチハードディスク、デュアルマザーボードを搭載可能。

■性能比較表

	19インチ型サーバ (2U)	ウルトラマイクロデータセンター®
サイズ (幅 x 高さ x 奥行き)	482 x 87.3 x 755 ミリメートル 19 x 3.4 x 29.7 インチ	430 x 65 x 340 ミリメートル 16.9 x 2.6 x 13.4 インチ
容量	31.7 L	9.5 L
CPU	Xeon E5-2640 (2.5GHz, 6 cores)	Core i7 3770K (3.5Ghz, 4 cores)
メモリ	4GB	8GB
GPU	nVidia Quadro 5000	どんなPCI-Expressカードでも nVidia GeForce GTX 580/670/680、 Quadro 5000/6000 ...
ストレージ容量	100GB SSD	120GB SSD オプション: 120GB SSD x4 RAIDアレイ (最大480GB, 読込/書込 2GB/s)
ネットワーク	ギガビットLAN x2	ギガビットLAN
消費電力	1100W	500W
サポートOS (価格には含まれません)	Windows Server 2008/2012 Red Hat Linux	Windows Server 2008/2012 Windows 7/8 / Red Hat Linux その他のLinux (OSなし販売可)
概算小売価格	¥1,000,000	¥500,000